薬剤部だより No.206

山口大学病院薬剤部 2007.3.15

麻薬管理マニュアルが改訂されました

厚生労働省は、平成18年12月18日に「麻薬管理マニュアル」を改訂しました。改訂後のマニュアルでは、患者・その家族の意を受けた看護師やホームヘルパー等に麻薬処方箋や麻薬を渡すこと、麻薬処方箋の FAX、入院患者自身が必要最低限の麻薬を自己管理することが可能となり、疼痛治療を受ける患者にとって麻薬が円滑に提供されるようになりました。主な改訂点は以下の通りです。

麻薬管理マニュアルの主な改訂点（病院・診療所に関する部分の抜粋）

- 緊急時等やむをえない場合は、麻薬卸売業者へ直接出向いて麻薬を譲り受けることができる（麻薬取扱者免許書等の提示が必要）。
- 医師の指示を受けた看護師が患者宅で麻薬注射剤の施用を補助する場合など条件付きで、看護師へアンプルのままの交付が可能（政府発行の封かん証紙がされているままでの交付は不可）。
- 患者・患者の家族等の意をうけた看護師・ホームヘルパー・ボランティア等に麻薬及び麻薬処方箋を手渡すことができる（その際は、書面、電話等で確認する）。
- 麻薬施用者の指示により麻薬及び麻薬処方箋を患者宅に届けることができる者として、麻薬診療施設の薬剤師または看護師を明記。
- 注射剤以外の麻薬（内用剤・坐剤・貼付剤）についても病棟での定数保管、夜間・休日の仮払いができる。
- 入院患者が必要最低限の麻薬を自己管理することができる。
- 麻薬診療施設の麻薬施用者が麻薬を保管する予定がなく、院外処方箋のみを交付する場合は、必ずしも麻薬保管庫の設置は要しない。但し、麻薬帳簿は必要。

ご質問等ありましたら薬剤部内田（2724）までご連絡ください。

併用禁忌薬追加のお知らせ

この度、深在性真菌症治療剤ブイフェンド錠（50mg、200mg）、ブイフェンド静注用（200mg）の併用禁忌薬に催眠鎮静剤ハルシオンが追加されました。併用によりハルシオンの血中濃度が上昇し、作用の増強や作用時間延長を引き起こすおそれがありますのでご注意ください。

薬剤鑑別記録用紙の様式を変更しました

薬剤鑑別記録用紙を以下の様式に変更し、項目を追加しました。

- 採用：当院採用の有無
- 同一成分薬：当院採用の同一成分薬
- 類似薬：当院採用の同種同効薬

薬剤鑑別記録

患者ID		患者氏名	

病棟 → 薬剤部　担当者（　　）　年　月　日

薬剤部 → 病棟

薬剤(実物)	薬剤コード	薬剤名	薬効	採用	当院採用薬 同一成分薬	当院採用薬 類似薬

※数薬鑑別の場合、薬袋ごと送付してください。　薬剤部DIセンター TEL 2668

薬剤鑑別を依頼される際は、実物を貼付してください。また、散剤の場合は薬袋あるいは処方された病院がわかるものの添付が必要です。

エルプラットの投与にあたって

エルプラットの投与中・投与後に発現するアレルギー反応が多く報告されています。アレルギー反応の中には、ショックに至る例もあり、1～2コース目に現れるものと投与を繰り返すことにより現れるものがあります。投与の際には、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、適切な処置を行ってください。

筋弛緩剤の管理を徹底してください

四国の大学病院で、2月6日にマスキュラックス（10mg）1本を紛失したとの報道がありました。同病院は警察署にも紛失したことを届けましたが、保管場所は外部からの侵入は困難で、誤って廃棄した可能性が強いとのことです。今一度、筋弛緩剤などの保管、管理を徹底してください。

アテレック錠に割線が入りました

カルシウム拮抗剤アテレック錠（10mg）が丸形から楕円形に変わり、割線が入りました。それに伴い、今までは粉砕化が必要でしたが半錠処方が可能となりました。

販売名変更のお知らせ

医療事故防止の観点から気管支拡張剤『ユニフィル錠100・200・400』の販売名が『ユニフィル LA 錠100mg・200mg・400mg』に変更となります。

ミシシッピ大学など3施設から薬剤部、病院を見学

ミシシッピ大学から1名（2月22日）、福岡大学病院から3名（3月5日）、倉敷中央病院から2名（3月9日）の薬剤師が来訪され、薬剤部門電算システムや総合治療センターにおける薬剤業務などを中心に見学されました。各部門の方々におかれましてはお忙しい中、見学にご協力いただきありがとうございました。